

13 デザイン・クリエイティブセンター神戸

(指定時名称：旧神戸生糸検査所)



(旧館)

設計：清水栄二
施工：竹中工務店
竣工：昭和2年
(1927)

(新館)

設計：置塩章
施工：銭高組
竣工：昭和7年
(1932)

構造：鉄筋コンクリート造4階 地下1階
所在地：中央区小野浜町



<新館>

設計者は、旧館が清水栄二、新館が置塩章で、いずれも神戸の近代建築史を語る上で重要な建築家です。旧館は垂直線を強調するチューダー・ゴシック様式、新館はネオ・ゴシック様式で、神戸の玄関口である神戸港の中心的施設として、そして当時の日本の最重要産物であった生糸の品質を保証する機関の施設として、威厳のある特徴的なデザインがいたるところに取り入れられた神戸の歴史を物語る貴重な近代化遺産です。

また、旧横浜生糸検査所が改築された今では、当時の姿を大きく変えずに現存する唯一の生糸検査所庁舎として貴重な建物です。



<旧館>